Unit 2

Dialog 概要

pp.12-13

* ディビッドはiPodのようなMP3プレイヤーを使っていて今まで考えてもみなかったことに気付く。自分たちにはこうした科学技術が当たり前のようになっているが実はすごい発明だということだ。アヤノもこれに同意する。
* ディビッドは最初に音を録音した人々の驚きは大変なものだったろうと言い，アヤノはエジソンの蓄音機の話だと気づき，2人はその偉大な発明家のことに思いを巡らせる。
* ディビッドはエジソンのすごいところはあるものに音を入れてそれを再生するということを思いつき，そのための装置を発明したことだと言い，エジソンは蓄音機の他，白熱電球や発電と配電などの重要な科学技術を開発したと言う。
* アヤノがエジソンは活動写真映写機も導入したことを切り出すと，ディビッドはそれが映画を録画した最初の機械の一つであることを挙げ，初期に録画された映画が米国議会図書館のウェブサイトで見ることができることを自分の携帯で示す。それは何と1894年のもので100年以上も前のものであった。
* 二人はエジソンが本当に偉大であることを実感する。

Part 1概要

* ディビッドはアヤノに改めて自分たちの周りには素晴らしい発明があることに感心したと話す。
* 二人はトーマス・エジソンが多くの驚くべき機器を開発したことについて話し，中でも活動写真映写機が重要な発明だとする。

Part 2概要

* ディビッドはアヤノに改めて自分たちの周りには素晴らしい発明があることに感心したと話す。
* ディビッドはトーマス・エジソンと彼の発明について話し，人々が録音された音を聞いた時の驚きを想像し，その素晴らしさに感動する。
* エジソンは白熱電球や発電と配電や蓄音機などの重要な科学技術を開発した。
* 最後に二人はトーマス・エジソンが導入した活動写真映写機について話す。

Part 3概要

* ディビッドはアヤノに改めて自分たちの周りには素晴らしい発明があることに感心したと話す。
* ディビッドはトーマス・エジソンと彼の発明について話し，人々が録音された音を聞いた時の驚きを想像し，その素晴らしさに感動する。
* エジソンは白熱電球や発電と配電や蓄音機などの重要な科学技術を開発した。
* 最後に二人はトーマス・エジソンが導入した活動写真映写機について話したが，それは映画を録画した最初の機械の一つであった。
* アヤノはエジソンを近代エンターテインメントの父であると言った。